

未来を
創造する
高校生

▼▼▼▼▼▼▼▼ 星槎道都大学美術学部建築学科

▼▼▼▼▼▼▼▼ 第五回高校生

▼▼▼▼▼▼▼▼ インテリアデザイン

▼▼▼▼▼▼▼▼ コンクール

▼▼▼▼▼▼▼▼ 作品集2023

好きな車を楽しむ空間に改装! キャンピングカーの内装をデザイン しよう!

Camping Car

**星達道大学美術学部建築学科主催
第5回 高校生
インテリアデザインコンクール
応募要領**

■課題名 「好きな車を楽しむ空間に改装! キャンピングカーの内装をデザインしよう!」

■参加対象 人との接触が少ない環境下でも楽しめるため、コロナ禍で人気となったアウトドアです。そこからさらに本格的にアウトドアを楽しむ人が増え、中でも一人でも比較的安易に楽しめるものとして車中泊が人気です。

それに伴って、車中泊可能な車やキャンプ場も増えていきます。キャンピングカーも今では、大企業やファミリー、個人所有のクルマだけでなく、キャンピングカーなど、本格的な車種のものがあります。思い思いに改装して、楽しく旅を楽しむ自分のための空間をデザインしてください!

■課題の内容 自分の好きな車でもよいです。インターネットで好きな車の車種を選んでよいです。アウトドアを楽しむ空間のキャンピングカーの内装をデザインしてください。

■応募資格 令和5年5月現在、高等学校在籍の生徒（1～3年）および、高等専門学校在籍の1～3年の生徒。応募は個人です。グループでの応募は不可です。

■用紙 A3用紙（縦向き）として使用すること。紙質、紙の色は問いません。余白に封筒の蓋を記入してください。ただし、書き方は問いません。

■仕上げ 手書き、カラーリング、CAD、切り貼り、表現方法は自由とします。※カラーリングなどで他の著作権に抵触している場合は審査対象外となります。

■応募方法 作品のタイトルは、作品の中に書いてください。応募者の氏名、学校名、学号、学校の郵便番号、住所、電話番号、A3用紙が作品の裏面に貼られていない作品は採りません。A3サイズのみです。また、または宅配便で送付してください。ダンボール箱などでは送れないようにしてください。

■締切日 令和5年 月 日（ ）当日消印有効

■提出先 星達道大学（〒615-0841）美術学部建築学科 110号 北海道星達道大学の110号 4号 4号

■審査員 星達道大学美術学部建築学科教員（現職・元職）インテリアデザインコンクール審査員（現職・元職）星達道大学教員・美術学部長・学生委員会・インテリアコーディネーター、色彩検定、商業施設士補等資格を有している星達道大学の学生。

■審査・表彰 教員審査員・学生審査員合同による審査会を開催し、審査結果は、令和 年 月 日（ ）に発表します。なお、賞状および賞品については高等学校・高等専門学校宛に送付致します。

■入賞 最優秀賞（1点）賞状および賞品：図書カード2万円
優秀賞（1点）賞状および賞品：図書カード1万円
佳作（2点）賞状および賞品：図書カード5千円
学生審査員賞（2点）賞状および賞品：図書カード5千円
団体賞（2点）賞状および賞品：図書カード1万円

■結果公表 審査結果は、応募者が所属する高等学校へ通知するほか、星達道大学ホームページおよび、星達道大学美術学部、第5回高校生インテリアデザインコンクールの入賞者に掲載します。なお、入賞者および応募者への掲載を辞退される方は、事前に担当までご連絡ください。

■原画返却 応募された原画は返却いたしません。応募された作品の原画については、星達道大学に保管するものといたします。

■専用ホームページ <https://www.seisadohda.ac.jp/fd-comp2/>

■登録料 入賞者の中で星達道道大学を受験する生徒には、審査会の参加ポイントとして評価されます。さらに、入学後は特待生により、建築学科専門科（アクションプログラムⅡ）の単位の一部として認定されます。

（問い合わせ先）
星達道道大学美術学部建築学科 審査委員長 宇野 秀一
〒615-0196 北海道星達道市中央2-140 星達道
E: mail@seisadohda.ac.jp 電話: 011-372-3111 FAX: 011-372-2580

総 評

昨年度の第4回「アウトドアを楽しめるペランダをデザインしよう」というテーマに引き続き、今回第5回は「キャンピングカーの内装をデザインしよう」にいたしました。まだまだ新型コロナ禍の影響が残る、野外に出て思いっきり動き回ることにどうしても躊躇せざるを得ない状況でできることは何かと考えた時、それを少しでも叶えてくれるのがキャンピングカーだ、ということから決定しました。したがって、「車の中のデザイン」という限られた空間であるからこそ、どのような楽しみ方ができるのか、それをどのように創り上げるか、そしてどこかの街に行くというワクワク感を共有できる空間とはどのような空間かなど、高校生みなさんの感性から生み出されるアイデアを楽しみにしておりました。最優秀作品は「画家が旅に出て絵を描く」という設定でしたし、優秀作品は「どこか気持ちのいいところに出かけ睡眠を満喫する」という、今はまだ自由にできないことの願望が空間となっていました。独自のアイデアを「かたち」にし、第三者に伝えるための表現をすることが上手に、的確にできた作品でもあり、高く評価された結果でした。また、健常者だけではなく、障がいをお持ちの方のための提案もいただき、高校生の視点の鋭さにも感服させられました。

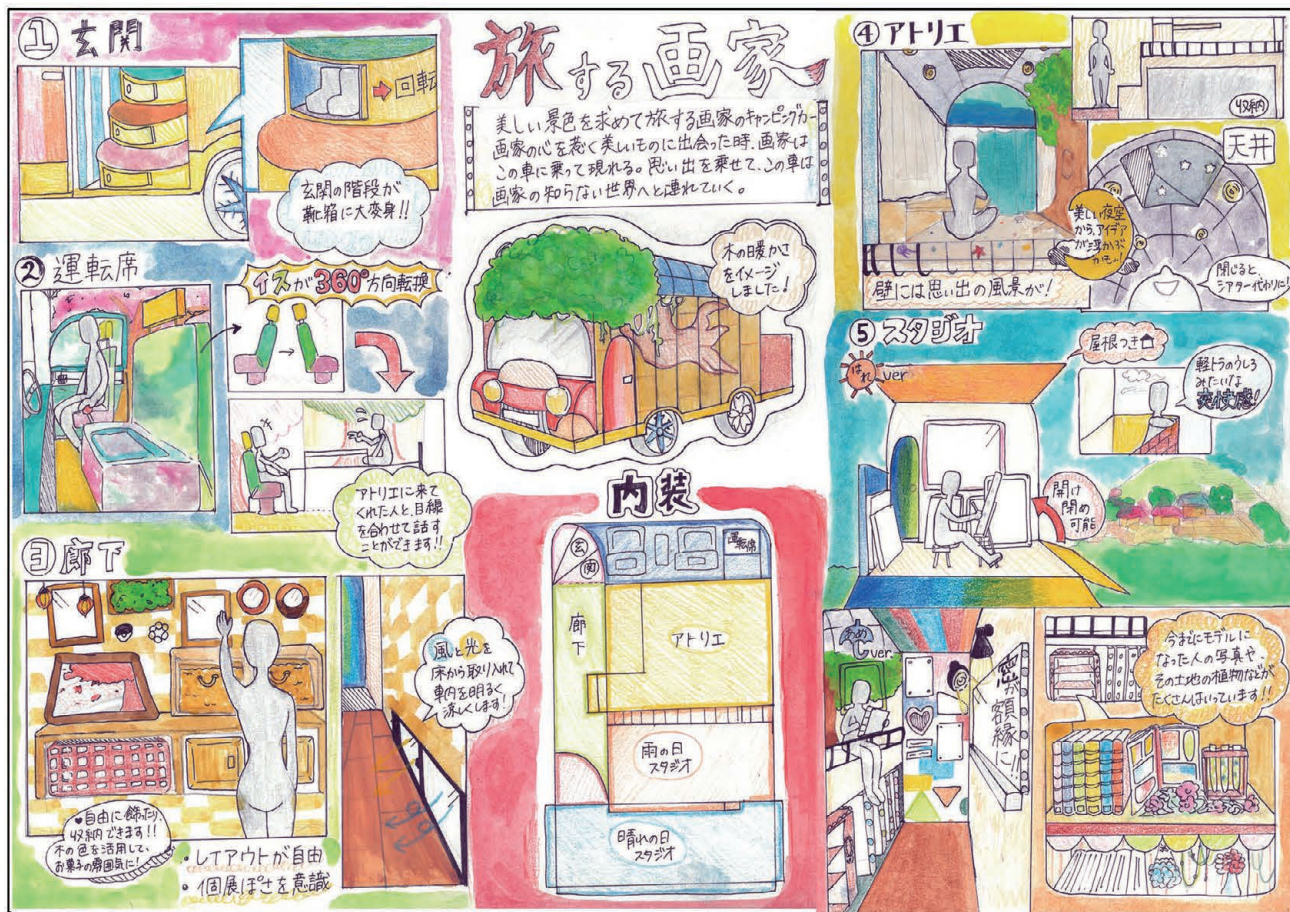
今回も35作品という多くの応募をいただくことができましたが、入賞した作品をはじめ、前述しましたテーマの主旨を理解していただき、多くの提案をいただきました。その作品制作のために、高校生活の大切な時間とエネルギーを注いいただきました高校生の皆さまのご努力と熱意に敬意を表します。

最後になりましたが、ご指導いただきました先生には、この場をお借りし感謝申し上げます。

植松 幸恵

「旅する画家」

帝塚山中学校高等学校 高校2年



講評

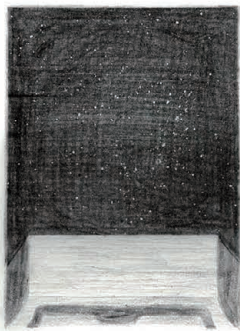
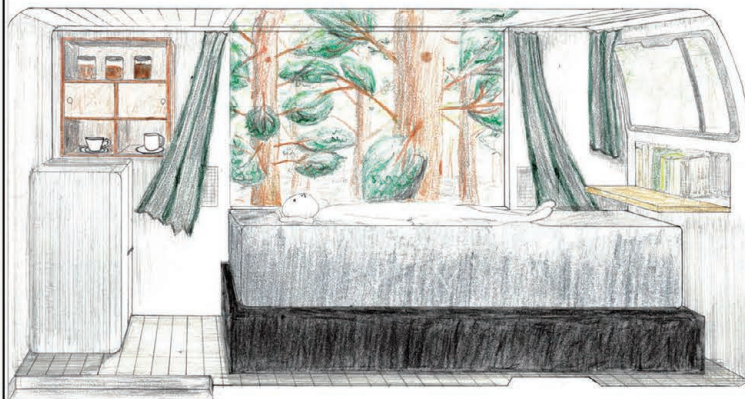
見た瞬間から、楽しく旅をする様子が想像できる作品です。色使いも明るく、設計者がワクワクしながら考えたことが見る側にもよく伝わり、うまく表現されていると感じます。細かな内装もあって、つくり込みも多く、思い入れが感じられました。

佐藤 恵

「Sleeping caravan」

静岡県立科学技術高等学校 1年

Sleeping caravan



・寝ながら見る星空

最高のベッド、枕に体を任せながらゆっくり夜空を見る。
染織した町では見られない満天の空。
車内の三面にある窓ガラスの長さは1.5メートルで
どこを見ても星を眺められる。
また、網戸は外の空気を取り込ませて、夜の空気感を肌で
感じて、心を落ち着けて睡眠に入れる。

・ベッド

世界的ベストブランドサータのサータグランドシリーズ
グランドプレミアムマットレス。やわらかめ、しっとり
とした手触りと厚さ43センチのポリウレタンが身体を
包みこむような寝心地を生み出す。
コイルはポケットコイルのため一つ一つが独立し、
その数1248本にもなりフィット感を作り出す。

・コンセプト

五感全てを夢見心地にして、大自然の心地よさを・充実さ・夢を加える
キャンピングカーを提案する。
コロナ禍では、キャンプに人気を博すことが多々あり、
私自身、キャンプに行くことがあった。
しかし寝るとき、テントがあり、寝袋があり、何かマットのようなものが
敷いてあって、雨風は流れる気持ちはあるものの、地面の砂利のゴツゴツや
暑さ、寒気などで寝心地が良くなかった。
そこで、そんなことを気にするどころか今までに感じたことがないような、
睡眠ができるキャンピングカーで、体も心も癒す。

・平面図

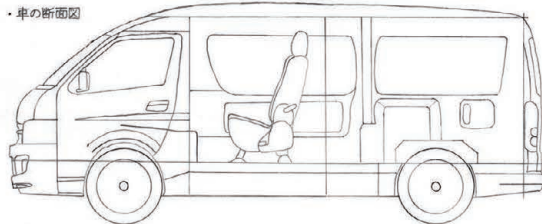


・朝の一杯



辺りはまだ薄暗く、鳥の音が聞こえる頃。
お湯を沸かし、コーヒー豆をミルにかける。
日が昇り、だんだんと明るくなっていく辺りを見て、
涼しげで豊かな空気を吸いながら、風の音。
川のせせらぎ、葉が揺れる音を聞き、落ち着く空間で
コーヒーをゆっくりと飲む。
時間はゆっくり流れ、味覚・嗅覚が達まされ、
朝を憂鬱のひと時へと変化させていく。

・車の断面図



講評

プレゼンテーションがきれいで、世界観があります。森の中で
過ごす空気感が伝わってきて、具体的にイメージできるところが
よいと思います。実際にキャンプに行ったとのことなので、その
時の体感がうまく表現されているのだと感じました。パースもわ
かりやすく、丁寧な印象を受けます。

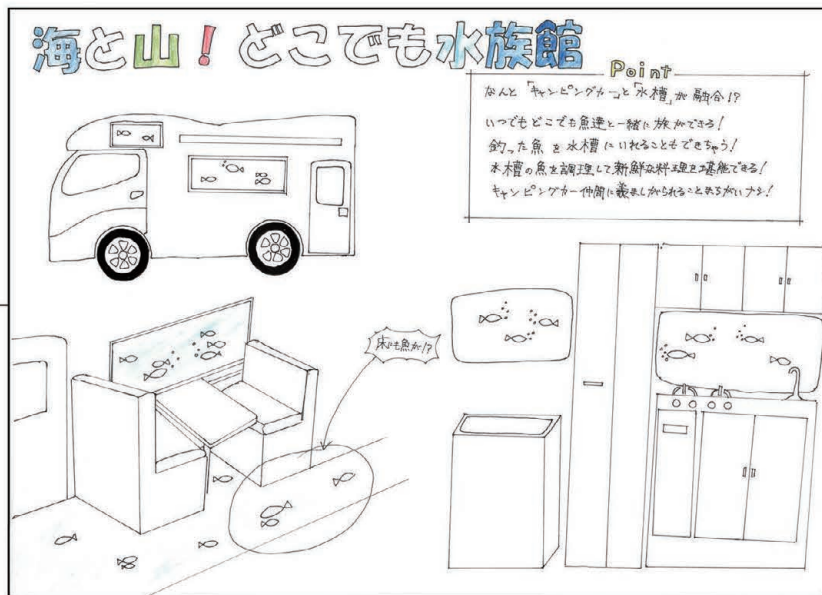
笠井 巧

「海と山！ どこでも水族館」

静岡県立沼津工業高等学校 2年

講 評

キャンピングカーの窓や床を水槽とすることで、活動する魚と過ぎゆく景色が重なり、日常の中に非日常を創り出すことができるユニークなアイデアに感嘆しました。また、鑑賞するだけでなく、釣った魚を飼い、食すという生活サイクルも提案しており、旅しながら生活することの魅力が伝わる作品です。



須田 美羽

「キャンプでおふろ」

静岡県立富岳館高等学校 2年

講 評

普通に寝泊まりして過ごすような作品が多い中、お風呂に特化した発想がおもしろいと感じました。車種もジムニーを選択するあたり、車選びから楽しんで考えてくれたのでしょうか。キャンプという設備のない中でも、楽しく過ごしたいという前向きな案が、とてもよいです。



名越 美羽

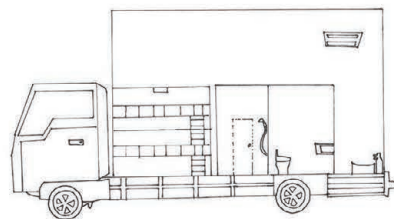
「体に不自由があっても楽しく過ごせる
自由なキャンピングカー」

北海道蘭越高等学校 2年

講評

盲導犬も含めて、障害を持つ人もキャンプを楽しんで欲しいという考え方はとてもよいと思います。生活にハンディがあっても、自然の中で過ごすことは心地よいことで、それが、このキャンピングカーで叶うのなら、とてもよいことですね。快適に過ごせるように、細かな気配りも感じられる作品となっています。

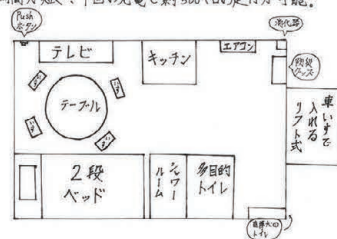
体に不自由があっても楽しく 過ごせる自由なキャンピングカー



コンセプト
障がい者に優しく、みんなにも
平等で快適に過ごせるキャンピングカー

快適空間!!

- ・盲導犬も一緒に乗れるように盲導犬用のトイレを設置されている。
- ・車椅子を入れるリフト式になっている。
- ・赤ちゃんも一緒に過ごせるようにオムツ交換台が設置されている。
- ・多目的トイレを設置しているので、車椅子利用者、高齢者、妊婦中の女性、子ども連れの方、性的少数者の方も安心して使える。
- ・Plusボタンは災害や火災、地震などの緊急時に押すと119番に繋がり、必要に応じて119番にも繋げてもらえるボタン。
- ・キャンピングカーのボディサイドに多数の足音が付いている乗る人もお客さんにも熱い、目の不自由な方も自分で乗れたりするためには、押す、引く、緩急などが書かれている。
- ・新型EVトラックで充電式なので、環境に優しい。
- ・充電時間が短く、1回の充電で約500キロの走行が可能。



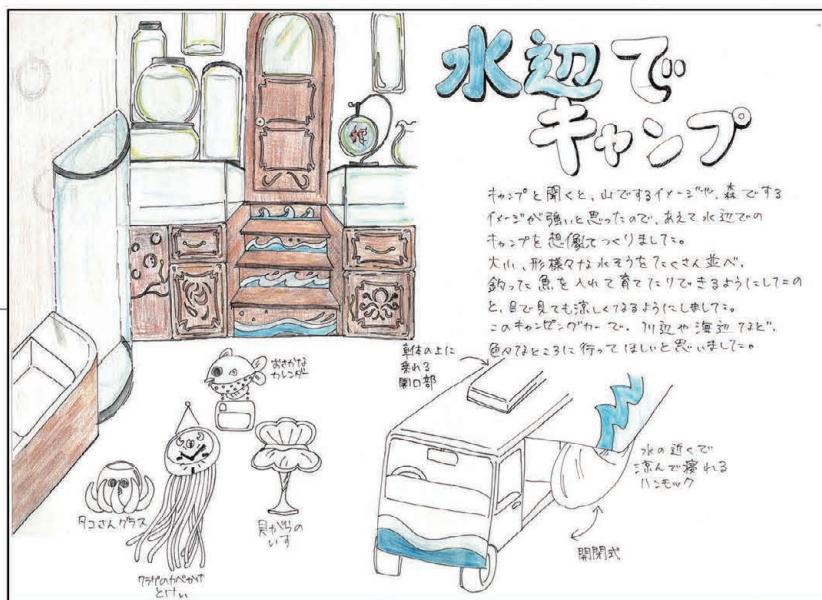
萩原 ちなみ

「水辺でキャンプ」

新潟県立上越総合技術高等学校 3年

講評

コンセプトの水辺で釣った魚を水槽に入れるという発想がとても面白いと思いました。家具も統一感がありとてもいいデザインだと思います。さらに水槽の形やカレンダー等の小物、ハンモックの機能等もこだわりが感じられてとても面白い空間になっていると思います。(池島)



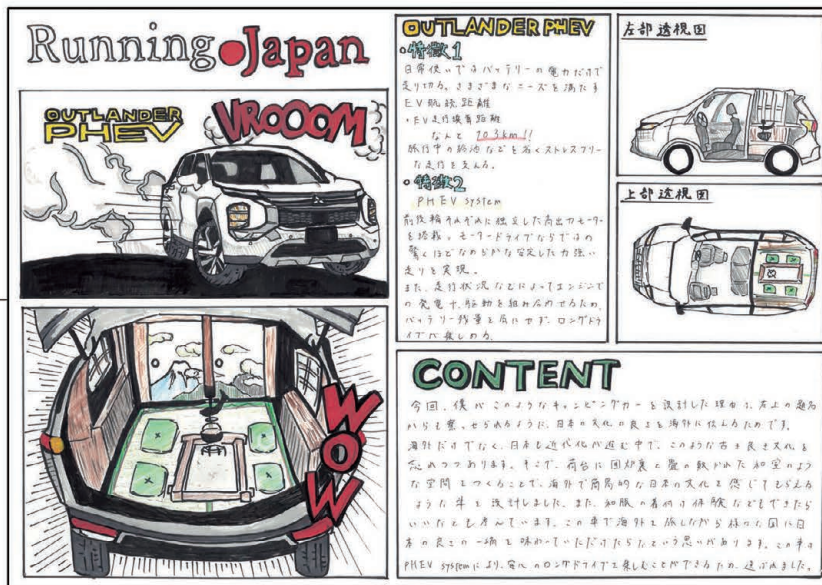
小野木 稜央

「Running O Japan」

静岡県立沼津工業高等学校 2年

講評

まず最初に全部の作品を見渡した時に、イメージ図にとても迫力があり目にとまりました。作品にまとまりがあり、内容が頭にはいりやすかったです。日本の古い歴史のある畳と囲炉裏を取り入れて、車の中に和室の空間をつくるという発想がおもしろく、良いと思いました。また、日本の文化のよさを海外に届けたいという想いがとても伝わってきました。この車で海外を旅できたら、とても楽しいと思いました。(高橋)



団体賞
新潟県立上越総合技術高等学校
様



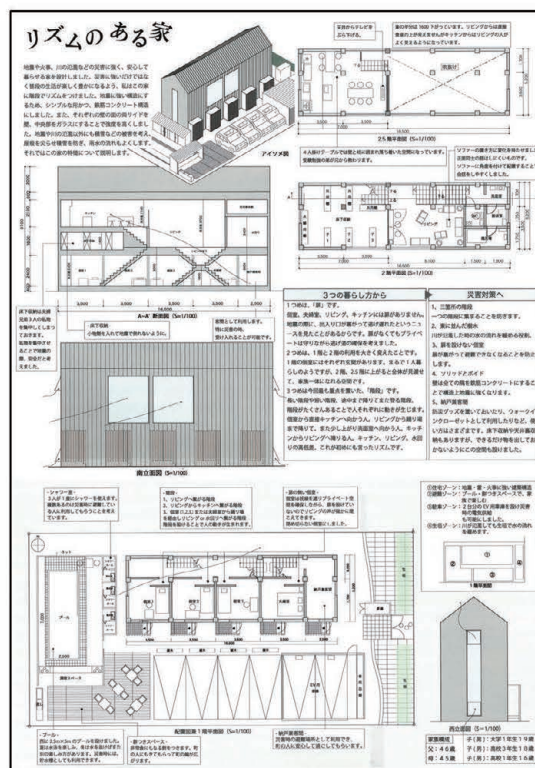
団体賞
静岡県立沼津工業高等学校
様



第20回(2023年度)星槎道都大学美術学部
住宅設計コンクールの案内ポスター



星槎道都大学美術学部建築学科ではインテリアデザインコンクールの姉妹コンクールとして「住宅設計コンクール」を毎年開催しています。当コンクールは全国の工業高等学校様からのご支持を得て、2023年度で第20回を数えるに至りました。また、毎回出題される住宅に纏わるユニークな課題も度々話題となっております。「住宅設計」と銘打っているために、中々普通科の生徒さんには敷居が高そうに見えて敬遠されがちですが、ぜひ普通高校生の工業高校生には無い「視点と発想」でのご応募をお待ちしております。



第20回(2023年度) 最優秀賞
奥山 桜美 「リズムのある家」
三重県伊勢工業高等学校建築学科3年 (受賞時)

第五回高校生インテリアデザインコンクールのあしがき

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、まだまだ公的な制限があったり、個々の判断とはいえどうしても自重しなければならない状況であったりと、4年前に比べても何かを思いっきりできない状況は続いております。それは高校生みなさんにとっても、高校生活に何らかの制限がかかることも続いていることと推察いたします。今回の作品には、その制限から解放されたときに何に取り組みたいかという思いや、車（キャンピングカー）という移動手段を手に入れたらこんなところに行ってみたい、そこでこんなことをしたいという願望がとてもしリアルにイメージできており、それを表現されたのではと思える作品が多く見受けられました。次回にも、そのような高校生みなさまの思いを作品にし、ご参加ご応募していただけるようなテーマを設定したコンクールを開催する予定であります。是非ともご参加いただければと思います。

最後になりましたが、今回作品をお送りくださりました高校生の皆さん、多くの生徒さんの作品を出品していただきました新潟県立上越総合技術高等学校、静岡県立沼津工業高等学校のご指導いただきました先生には、この場をお借りし、あらためまして感謝申し上げます。

審査委員長 建築学科 安藤淳一

学生審査員紹介

星槎道都大学美術学部建築学科

2年 高橋 采女

1年 池島 智秋



第五回高校生インテリアデザインコンクール作品集

令和6年3月20日 印刷
令和6年3月31日 発行

編集 星槎道都大学美術学部建築学科高校生インテリア
兼発行 デザインコンクール作品集編集委員会
〒061-1196北海道北広島市中の沢149番地
電話 (011) 372-3111
<https://www.dohto.net/id-comp23/>
e-mail: jandoh@seisa.dohto.ac.jp

星槎道都大学 美術学部建築学科

発行：2024年3月

〒061-1196 北海道北広島市中の沢149番地

TEL:011-372-3111

<https://www.seisadohto.ac.jp/>



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C183589